

1. 支援テーマ
<p>テーマ：「経営に役立つIT活用」のためのIT戦略立案支援</p>
2. 支援先企業の概要
<p>会社名：株式会社西部包装 所在地：宇和島市坂下津甲407-187 代表者：代表取締役 鈴木 弘幸 業種と業種構成：包装資材卸売業 従業員数：正社員50名</p>
3. 支援依頼の背景
<p>同社は、愛媛県南部を中心に食品包装容器の卸売事業を展開している。創業当初より「豊富な品揃え」と「きめ細かい顧客対応」を強みとして、多様化する顧客ニーズにいち早く応えてきた。しかし、近年ますます加速する多品種小口化や、競合他店との価格競争にて、コスト面での問題が深刻になってきた。</p> <p>同社では、既にITを利用した業務効率の見直し等によるコスト削減を試みてきたが、十分な効果が得られていないことに危機感を抱き、当支援依頼に至った。</p>
4. 支援内容
<p>支援依頼の目的はIT導入によるコスト削減。同社ではコスト増の主な原因として、 煩雑な伝票事務 不良在庫の増加</p> <p>を認識しており、この問題を解決するためのITシステム導入を支援することが当初の依頼内容であった。しかし、支援開始初期段階で、過去のIT化で効果が出ない原因がITシステム以外の部分にあることを共通認識することが出来た為、支援の目的を「経営に役立つIT活用」に変更し、経営課題の解決に向けた戦略的IT導入を目指すこととした。支援にあたって、社長を含めた経営幹部からなるプロジェクトチームを結成し、 経営戦略企画の立案 経営戦略に基づくIT戦略の立案</p> <p>の2ステップで、同プロジェクトの進行・助言役として参画した。</p>
5. 同社のIT戦略
<p>支援開始前は「コスト削減」が目的であったが、これは表面化している問題に過ぎず、同社の今後において、他に優先すべき重要な経営課題が存在することを経営戦略立案の段階で整理した。そして、これらの経営課題解決に必要となるIT化戦略の検討結果として、次の4つのIT化テーマを導いた。</p> <p style="text-align: center;"> 営業情報の収集と共有 リアルタイムな計数把握 商品別在庫管理の実現 受発注業務の効率化 </p> <p>現在は、これらのテーマに即した今後3年間のIT化実行計画に沿って取り組み中。</p>
6. お客様の声
<p>今回の支援を受けることにより、ITで効果を出すための考え方を理解することができ、無理・無駄のない計画的なIT化推進が可能になりました。</p> <p>従来は、IT業者任せになっていた部分を、自分達の力で創り上げられたことは、今後のIT化を推進する上で大きな自信になるとともに、ITを身近な存在にすることができました。</p>